

授業科目名・形態	母子保健活動論 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	日景 真由美	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

### 【授業の主題】

母子保健分野における保健活動の歴史的な変遷や現在の施策及び動向を踏まえて、対象の健康レベルに応じた健康の保持増進、健康の回復・改善、疾病予防対策の支援方法や技術を学ぶ。

### 【到達目標】

1. 母子保健活動の歴史的変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 母子保健活動の現状を把握し、対象者への支援（保健活動）を理解できる。
3. 母子保健における地域の支援体制や社会資源を考えることができる。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 母子保健活動の変遷
- 第2回 母子保健の健康関連指標の動向
- 第3回 母子保健施策・母子保健計画
- 第4回 女性のライフステージ各期の健康課題と支援 I（思春期、妊娠期 など）
- 第5回 女性のライフステージ期の健康課題と支援 II（産褥期・育児期、成熟期、更年期）
- 第6回 乳幼児期の健康課題と支援 I（乳幼児の発育・発達 など）
- 第7回 乳幼児期の健康課題と支援 II（乳幼児健康診査、乳児健康診査）
- 第8回 乳幼児期の健康課題と支援 III（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）
- 第9回 乳幼児期の健康課題と支援 IV（乳幼児の健康課題、基本的生活習慣 など）
- 第10回 乳幼児期の健康課題と支援 V（離乳食 など）
- 第11回 乳幼児期の健康課題と支援 VI（事故防止、予防接種 など）
- 第12回 子育てのリスクを持つ家族と支援 I（未熟児、低出生体重児、心身障害児など）
- 第13回 子育てのリスクを持つ家族と支援 II（児童虐待 など）
- 第14回 子育てのリスクを持つ家族と支援 III（発達障害、DV、ひとり親家庭 など）
- 第15回 母子保健における地域の支援体制、社会資源

### 【授業実施方法】

講義、演習

### 【授業準備】

母性看護学や小児看護学で学んだ内容を復習して講義に臨む。講義後は学修内容を復習する。

### 【主な関連する科目】

「母性看護学」「小児看護学」、「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」などの公衆衛生看護学の科目

### 【教科書等】

公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版, インターメディカル, 2019.  
国民衛生の動向 2019/2020年版, 厚生統計協会, 2019.

### 【参考文献】

標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 2019.  
最新保健学講座3 公衆衛生看護活動論①, メヂカルフレンド社, 2020.  
最新公衆衛生看護学 第3版 各論1, 各論2, 日本看護協会出版会, 2012.

### 【成績評価方法】

受講態度等 (5%), 提出課題 (30%), 定期試験の成績 (65%) による総合評価

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

都道府県保健所で保健師として、地域保健活動を経験  
保健師としての実務経験から公衆衛生活動および公衆衛生看護活動（保健師活動）について、知識や技術を授業を通して伝えたいと考えています。

### 【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して授業に臨みましょう。特に、母性看護学・小児看護学で学んだ内容を基礎として、授業を展開していきますので、関連する項目を復習して授業に臨みましょう。